

も どうし

# 議会だより

No.19

平成25年7月1日発行  
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



今年の釣果は期待できます!!

- 一般質問（これが聞きたい） ..... P2～3
- 活動報告 ..... P4～5
- あの一般質問は・今（地域防災計画は） ..... P7
- 紹介／がんばる人紹介 ..... P9～10

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# Q 地域おこし協力隊 に何をさせるのか



出羽和乎 議員

出羽

**Q** 地域おこし協力隊の活動内容及び採用人員は。

**A** 最終的には5名採用

村長

活動内容としては、  
・ 水源教育の支援活動  
・ 農林業体験学習への支援活動  
・ 地域の情報発信に関する支援活動  
・ 地域おこしの支援活動  
・ 地域資源を活用する商品開発の支援活動をおこない、地域活動に期待できると判断し5名採用した。

出羽

**Q** 管理監督はどの部署か

**A** 総務行政グループが担当

総務課長

月・金曜日は活動の助言、相談等に当たり、火、水、木の3日間は、道志・森づくりネットワークの管理体制化で活動している。

出羽

**Q** 協力隊からの報告、連絡、相談は

**A** 業務日誌にて報告

総務課長

役員担当者、協力隊員、NPO法人の三者にて連絡調整会議を開き、活動の計画、内容、進捗状況、問題点につ

いて話し合い、活動内容は業務日誌にて報告を受けている。

出羽

**Q** NPO法人への事業委託費の内容は

**A** 指導、支援費及び広報費180万円

総務課長

活動に対する指導、支援費160万円(活動事務経費、研修費等)活動、成果の広報費等20万円(4回発行)

出羽

**Q** 協力隊員の人数にあった仕事量はあるのか

**A** 今後は小規模多機能自治を支える地域自主組織の立ち上げ



総務課長

2名については、小規模多機能自治を支える地域自主組織の立ち上げに関する活動を予定している。

今年度は、持続可能な地域づくりへ向けた活動組織として久保地区に組織の立ち上げを考

**A** 住んで子育てをしてみたい道志村を発信

総務課長

村内の子育て世代の意見や、協力隊員の村内外から観た視点から利点は活かし、不足は補いより良い「住んで子育てをしてみたい道志村」に取り上げられるような情報について、ホームページ等を活用して発信していく。

**Q** 道志村のホームページを充実させて情報発信を

せて情報発信を

# Q 水利をそなえた ヘリポートは



すぎもとひであき  
杉本秀明 議員

杉本

5月に起きました山林の火災で、防災ヘリが消火にあたりましたが、水利が取れず、山中湖まで水を汲みに行かなければならないなどの対応でした。初期消火の重要性を考え、水利をそなえたヘリポートが必要かと思われませんが、どのように考えているのか。

## A 林間広場に

総務課長

今回の火災における消火活動は、自衛隊の地上消火活動までの対応にて翌日の鎮火となりました。

各関係機関の連携により大きな事故もなく鎮火に至りました。

しかし、消火活動における各調整段階の場面において、再確認を

しておく事項も発生したことにより、山梨県、3市村、各消防本部、航空隊、自衛隊による検証会議が行われました。この検証会議での課題等につきましては、情報共有の取り方、連絡調整等、その他に議員ご質問の消火活動の際における給水ポイント

となる水利の確保もありました。

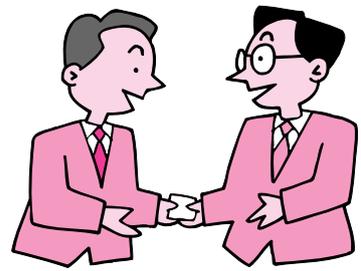
この検証会議での課題等について、都留市消防本部とも協議を行い、村の取るべき対応策としまして、場外離着陸場として地域防災計画においても指定してあり、自衛隊所有の大型ヘリコプターの離

着陸にも十分な広さのある、林間広場に耐震性貯水槽100t級を整備し、空中消火用の水利を確保することが喫緊の課題であるため、今年度の国庫補助事業の追加要望に申請できるよう準備をしているところであります。

「再質問あり」



# 動 報 告



## 渡辺英機県議会議員と行政視察

平成25年 5月10日

渡辺県議会議員来村で、富士・東部建設事務所長と担当者に同行していただき、行政、議会と面会し協議した。その後、村内危険個所の視察をして改善要望を伝えました。

村内国道は高低差があり、カーブが多いため交通事故が多く、また、土砂崩落の危険個所や道路の拡幅を要する個所等の改善依頼をお願いしました。今後も、県、国、各機関に協力要請を行い、住みよい村づくりを進めていきたいと思ひます。



## 白壁賢一県議会議員来村

平成25年 3月29日



白壁賢一県議会議員が、富士・東部農務事務所長と担当者を伴い来村されました。

平成 25 年度から実施される農村地域防災減災事業について、所長及び担当者から事業内容の説明を受けました。

説明後、これから実施される事業について意見交換を行い、大変有意義な研修会になりました。

## 町村議会議員研修会参加

平成25年 5月23日

自治会館にて、町村議会議員研修会に参加してきました。自治功労者の表彰があり、自治体（1団体）、個人（28名）が功労表彰及び感謝状を授与しました。講演では元総務大臣、元鳥取県知事で、現在慶應義塾大学法学部教授の片山善博先生のお話がありました。

内容は「分権時代における地方議会への期待」というテーマで、我々議会に対しての指針を教える講演でした。

今後の活動に生かしていきたいと思ひます。



# 議 会 活

## 山梨県町村議会広報研究協議会視察研修

平成25年 5月15日

山梨県町村議会広報研究協議会において、宮城県の大和（タイワ）町と利府町に視察研修に行ってきました。

両町の議会だよりの編集作業、スケジュール等について伺い、各町村との違い、良い点、改善すべき点などを協議し、村民の皆さんにわかりやすく、理解してもらえるような、議会だよりのつくり方を勉強してきました。



## 小菅村の多摩源流まつり視察

平成25年 5月4日



小菅村の多摩源流まつりを議会にて視察してきました。小菅村は皆さん周知のように道志村の半分以下の人口です。その小さな村に1万人以上が集まり、賑やかに行われていました。一番驚いたのは地元以外の下流地区の青梅、多摩の各種団体の参加、協力があったことです。又、村民の結集力と、そのパワーに感動しました。当村においてもいろいろなイベントが有りますが、村民のみなさんと行政が一体になり、村の活性化に向けて頑張っていきたいと思います。



## 町村議会議長・副議長研修

平成25年 5月28日

全国(北海道～沖縄まで)の町村議会の議長・副議長研修会が、東京のメルパルクホールにて行われました。

「これからの町村議会のあり方」というテーマのもとに、パネルディスカッションや講演が行われました。

各自治体の議会とも、「開かれた議会・信頼される議会」をめざして、いろいろな取り組みをしています。

道志村議会も、村民のみなさんに信頼される議会をめざして、頑張っていきたいと思います。

# 議案の質疑

平成25年第3回道志村議会定例会は6月11日から14日までの4日間の会期で開催しました。本定例会で行った、協議会の質疑の一部を紹介します。



## Q 道の駅騒音問題について

- 昨年のふれあいトーク時に、住民より騒音について検討して頂きたいとの意見が出たが、その後の対応は
- 看板は設置されているが効果を発揮していない

A 看板の付け方等について再検討します。

## Q 有害鳥獣の管理捕獲について

- 管理捕獲（駆除隊）は現在行っているが、経費面で国庫補助に該当する事業は無いのか

A 該当する補助事業はない

## Q 和出村地区国道の側溝工事について

- 溝蓋を付ける工事が、途中で終わっていると思われるが、その理由を承知しているか

A 土木と業者間の合意に隔たりがあり中断されたが、継続して完成させる

## Q 森林整備について

- 間伐等森林整備を実施する場合、NPOと森林組合とで作業場所が重複することが予想されるので、補助金等の制度上の問題もあるので事前に調整することは

A 森林環境税が配分され、今後、間伐面積が増加すると思われるので、円滑に推進できるよう調整していきたい

## Q 道志村職員給与の臨時特例に関する条例について

- この条例の詳細については

A 職員給与の月額を減額する規定であり内容は次のとおりであります

- \* 一般行政職、看護・保健職、医療職、福祉職について一律1.2%減額する。
- \* 期間は平成25年7月1日から平成26年3月31日まで
- \* 総額約1,370,000円の減額となります。

### 議員の意見

**反対:** 行政改革等により、職員数の削減等が既にも実施されており、さらに給料を減額すると職員の就業意欲を損なうことにもなるため

**賛成:** 山梨県及び近隣市町村の動向や、村民感情等を考慮した場合。また、ラスパイレス指数も国家公務員を上回っているため減額が妥当ではないか。

**6月14日の本会議において反対で可決されました**



# あの一般質問は今・・・

平成25年3月定例会

**質問**

公共施設の  
安全対策は

**答弁**

定期的な保守点検を  
計画し安全対策を図る

平成24年6月定例会

**質問**

土砂崩壊防止（中神地）  
について

**答弁**

農村地域防災減災事業  
で防止対策を要望して  
いる

その結果 **今は**



平成25年度の事業として、遊歩道の改修（2ヶ所）、吊り橋の補修（2ヶ所）、道志全域の村道の点検、橋梁の修繕（8～9ヶ所）林道点検診断（16ヶ所）、等の事業を行います。

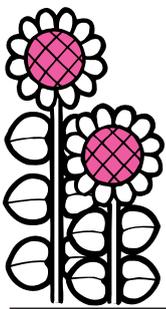


農村集落の安全ををまもるための農村  
地域防災減災事業が決定し、今、現地の調  
査を始めるところです。

**議会の考え**

点検終了後、優先順位をつけ危険度の大きい物から工事するように議論したい。

集落の危険個所を点検し、防災工事で安心・安全の村づくりを、めざします。



# 議案等の審議結果

H25年第3回道志村議会定例会（6月11日～14日）

議案等番号	件名	審議結果
報告第1号	平成24年度道志村一般会計繰越明許費繰越計算書	——
承認第1号	専決処分の承認について（平成24年度道志村一般会計補正予算（第8回））	承認
承認第2号	専決処分の承認について（平成24年度道志村後期高齢者医療特別医療特別会計補正予算（第4回））	承認
議案第41号	道志村税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第42号	道志村行政連絡員設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	道志村新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決
議案第44号	平成25年度道志村一般会計補正予算（第1回）	原案可決
議案第45号	平成25年度道志村国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	原案可決
議案第46号	道志村職員の給与の臨時特例に関する条例	原案可決
発委第3号	人口増加対策特別委員会設置に関する決議	決議可決

## 「人口増加対策 特別委員会」設置

### 発委第3号

人口増加対策特別委員会設置に関する決議について、総務文教常任委員長より提案理由の説明があり、決議は可決されました。

### 提案理由要旨

道志村も少子高齢化が進み、何らかの対策を立てないと人口減少に歯止めはかけられません。

平成25年4月現在の人口は、1903人で、高齢者572人と高齢化率は30%を超えています。

子育て世代の定住人口増加対策が求められています。

- ・適齢者の結婚問題
- ・Uターン・Iターンの推進
- ・雇用問題
- ・子育て負担の軽減
- ・インフラ整備（住宅・道路等）
- ・情報発信

これらの諸問題について、調査、研究を行い人口増加に結び付くことを協議し提案していく。委員会構成役員は次の通りです。

委員長	出羽和平	副委員長	山口勝也
委員	水越茂広	山口博康	池谷高明
	長田達義	山口力	杉本秀明
			佐藤定三

\*特別委員会設置により、総務文教常任委員会構成が次のように変わりました。

総務文教常任委員長	出羽和平	佐藤定三
副委員長	佐藤定三	大田博文



# 日本一の水源地の郷を目指し

## 道志川の魚族の 増殖・水質保全・環境美化に協力を

組合長 山口 太平さん

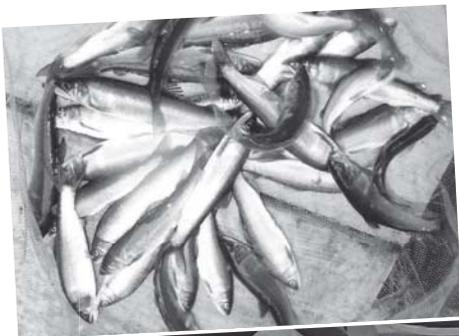
当組合は、理事20名監事3名で構成され組合員の皆様のご指導、ご協力により運営しています。本年度の基本方針は関東随一と言われる道志川の魚族の増殖を推進し、水質保全、環境美化を目的としています。道志川と自然は村の宝です。村の宝を生かし、村の活性化のため努力することが当組合に与えられた責務であると思えます。

具体的に本年度は、道志村の協力を得て道志村、漁協、東京海洋大が連携し環境調査を行っています。小中学生を対象に水質保全環境美化教室を実施すると同時に釣り客等のため道志川溪流フィッシングセンターの整備を行います。

第1回道志川鮎友釣り大会を7月15日（海の日）に、川原畑～馬場間で開催いたします。皆様の参加をお願いします。例年全国的に10月に行われる「水辺感謝の日」河川清掃を実施します。釣り大会同様参加下さいますようお願いします。

本年度の放流計画は、ヤマメ成魚 4,000Kg（実施済み）稚魚 3万尾、ヤマメ発眼粒 50,000粒、鮎稚魚 3,000Kg（実施済み）鮎成魚 200Kg、ウナギ10kgです。

道志村、山梨県花き農水産課、水産技術センター等関係機関の指導、ご協力を得まして村民皆様のご指導、ご協力で目的達成のため努力することを誓い活動して参ります。



紹  
しょうかい  
介

道志村漁業協同組合

## 道志教育から いじめ問題を考える

学校教育における「いじめ」現象は、日本だけでなく世界中にあると言われており、行政、教育界、PTA等が対処しています。しかし、依然として発生していることを考えると対応策に盲点があるのではないかと考えられます。「道志教育」の特色からこの問題を見ると、小規模校であるという長所を生かし先生方が相和し、地域機関と連携して解りやすい授業が実施されています。また、生徒自治による



道志村教育委員会  
教育委員長 佐藤長久さん

学校行事が行われており、これ等のことが道志の学校教育において「いじめ」を無くしているのではないかと考えています。

さらにもうひとつ希望を言おうと、現在の自校方式による学校給食が食育として見直され、その効果が出る時道志教育が少し輝きを増して「いじめ」という言葉から卒業できるかもしれない。

## 写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会  
委員長 杉本 秀明  
副委員長 山口 力  
委員 出羽 和平  
委員 佐藤 定三

6月定例会(11日~14日)は、補正予算などの、審議も終わり閉会致しました。村民の皆様におかれましては、忙しい田植えも終わり安堵していることと思います。昨年試験的に作付けた新品種「道志米」が、村民の皆様方のご協力により田植えが今年おこなわれ、秋の豊作が持たれます。新しい手法による稲作は、今後道志村のブランド米として各方面で消費され、全国に名声がとどろく事を期待しています。小さな村で何が出来るか、ひとつひとつ皆で考え地域おこしを進めて行きたいと思っています。  
(佐藤定三)

編集後記

